



新座三中だより

学校教育目標

自ら学ぶ 心豊かに たくましく

新座市立第三中学校

令和5年3月24日

新座市池田1-1-1

TEL 048-479-4052



「もう一回だけ」

校長 和久井 功雄

校庭の桜や花々が春の訪れを告げ、別れと出会いに彩りを添えてくれています。3月15日に281名の卒業生一人一人に卒業の祝いとこれからの輝かしい未来を願い、心を込めて、卒業証書を手渡させていただきました。次のステージへスタートした卒業生一人一人の未来が充実したものになることを心から願います。



三中生のみなさんに伝えたいことがあります。常に今より自分を成長させることを続けて欲しい。ということです。そのためコツを言います。1つは自分で自分の限界を決めないこと。もう一つは「常にもう1回だけ試してみることです。」「もう1回だけ。」のリトライ精神です。あなたたちの力は無限です。限界はありません。だから自分で自分の限界を決めず、諦めずに挑戦し続けて下さい。

また、発明王と言われ現代社会の支えとなる様々な発明をしたエジソンも「一万回の失敗をしたのではなく、一万回のうまくいかない方法に気が付いた。」と言っています。

次の言葉はテレビで聞いたことがあると思います。「プロになってから928回三振した。打たれたヒットの数は647、ホームランは59本打たれ、失点数は全部で281、チャンスで506回凡退して、二刀流が無理だと言われたことは数え切れない、でも、二刀流が無理だと思ったことは一度も無い。」と言うように、プロになってからもたくさんの失敗をしています。また、プロになるまでも数え切れないほどの失敗をしてきたでしょう。でも、自分で自分の可能性に限界を決めたことはなく、「もう一回だけ」を繰り返してきたのだと思います。プロになることがゴールではなく、プロになってからも失敗を繰り返しながら成長していく。と言う気持ちが、大谷選手を成長させ野球界で世界のトップ選手にしたのだと思いませんか。大谷選手は「失敗の数だけ僕らは成長できる」と言っています。

今より自分を成長させるために、失敗しても諦めずに、「もう1回だけやってみよう」。経験や体験をたくさんして、失敗から学び、諦めずに何度も挑戦し、自分を成長させていくことを願っています。他人と比較する必要はありません、一番でなくていいのです。ナンバーワンではなくオンリーワンになってください。

そして、もう一つ伝えたいことがあります。新型コロナウイルスの流行によって、私たちは孤立することの不安を感じてきました。また、新型コロナウイルスに限らず、皆さんも、一人や孤独の辛さを感じたことがあるでしょう。そんな辛いとき、苦しいとき、困ったときなどは誰かを頼ってください。仲間に助けを求めてください。みなさんは第三中学校で「協力すること」「助け合うこと」「誰かのために何かをする」ということを学んできました。人は一人では生きていけません。だから、一人で悩まず、一人で苦しまず、三中の仲間を頼ってください。



保護者・地域・関係者の皆様へ、この一年間、生徒たちが健やかに成長できたのは、日頃から本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、生徒たちに様々な栄養を与えていただいた皆様のお陰であります。心より感謝申し上げます。

「自ら学ぶ 心豊かに たくましく」をもった生徒を育てるため、学校・家庭・地域が一層連携を深めていきますよう、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

－ 経験や体験から学ぶ 価値ある失敗を大切に －